

ていばーく所蔵資料紹介②

日本国憲法公布記念絵葉書原画
川端龍子「^{ふし}不尽」



この絵は、日本画家の川端龍子が静岡県^の海岸から望む富士山を描いたもので、昭和21年に日本国憲法が公布されたのを記念して発行された官製絵葉書の原画です。

この官製絵葉書は「日本絵葉書」と命名され、秋の農村風景を描いた「平和」（石井柏亭画）漁村の地引網を描いた「迎日」（藤田嗣治画）と合わせて3枚1組の袋入りとして発売されました。

終戦後、再建途上にある日本文化の向上にも寄与すると同時に収入増もはかる予定でしたが、額面2銭の絵葉書3枚で売価が3円と高価だったため、この第1集は売れ行きが悪く、第2集は発行されませんでした。

（表紙解説）

東海道五拾三次之内 大磯 虎ヶ雨

花水橋を渡り化粧坂を過ぎると、高麗山の麓と太平洋に挟まれた大磯宿の東側入口に至る。蕭然とした雨の中、傘を差し蓑を着けた旅人が頭を垂れて歩んでいる。

虎ヶ雨とは曾我物語のヒロイン虎御前の涙雨、曾我五郎十郎の兄弟は富士巻狩で父の仇工藤祐経を討ち果たすが、虎御前の恋人曾我十郎祐成は討死してしまう。悲恋にまつわる雨の大磯の風景が暗く描かれている。